

民間支援まちづくりファンド 活動紹介

事業名 寄り合い処 かぬき 「暖だん」

1. 活動の目的

1. 誰もが安心して暮らしていける社会をつくる
2. 近所の人同士の支え合いに手助けをする
3. 買い物難民を救う

2. 活動を始めた経緯

【代表者：小林さんより】

平成23年に元スナックだった現在の場所をリフォームして地域の高齢者が立ち寄れる常設の居場所づくりをしました。また、運営元である我々NPO法人で介護事業を行っており、認知症の人たちを少しでも減らそうと考えて取り組みを始めました。袋井市などの先進的な取り組みをしていた他団体の事例を参考にして、コミュニケーションを取れる場所を、沼津で設けようという思いもありました。もともとスナックだったことも、地元の方の利用者に知っていただけている点だと思います。その他デイサービスのない日などの、お年寄りの居場所として来ていただける場所を目指しています。開所した当時は、包括支援センターなどの認知度もまだ薄く、始めるにあたっては、ドキドキしながら進めていました。



4. この活動を通じてつながることができた方々

- 沼津市高齢者サロンの各団体
ひだまり亭（大諏訪）/藤井原サロン愛（下香貫）
沼津市高齢者サロンへの登録や、社会福祉協議会が主催する「居場所」づくり支援活動をきっかけに、情報共有など親交を深めて協力関係を築いています。
- しもかぬきマーケット
下香貫地区社会福祉協議会主催で、包括支援センターが共催するイベントで、定期的に第三地区センターで開催されています。出店は第三地区で商売をしている事業者を中心にして、ターゲットとする客層は高齢者の買い物難民や、足がなくて遠くへ行けない方々に向けたもので、暖だんに出店依頼があったときには、手作りのわさび漬などを販売しています。

団体概要

- 団体名 NPO法人 まごころサービス東部センター
- 代表者名 小林 廣子
- 活動場所 沼津市下香貫八重145-2

3. 活動内容

1. ～助成時の活動について～

・平成29年度



・平成30年度



ファンドの活用により、カラオケ・歌声「暖だん」・小物作り・手芸教室等々、数多くのプログラムを取り入れました。完成した作品の一部は、手芸や編み物作りをされている方たちの発表の場として、市展やバザーでの販売につなげ、施設利用者のいきがいつくりに繋げることができました。

2. ～助成から現在までの活動について～（令和5年2月現在）

ファンドの助成後は、赤い羽根共同募金や赤十字等を活用して、年間約8万円の活動資金で暖だんを運営しています。コロナ禍で活動を自粛していた時期もありましたが、昨年3月頃から徐々に活動を戻してきており、おやすみすることなく活動できています。現在は主要スタッフ6名を中心として、足湯、カレーづくり、買い物ツアー、カラオケなど、感染対策に気を付けながらの活動となります。

その他、開所当時から続けている、地元農家の野菜の販売なども行っており、高齢者だけでなく、地域住民が買い物ができる場所としても、訪れていただいています。



5. この活動を通じた効果や成果について

- 私たちの取り組みのおかげで、『新鮮な野菜が食べれた』『いつでも立ち寄れる場所ができて嬉しい』という声があることが、やってきた中でよかったと思います。この場所で、家で一人でもるより、楽しい時間を過ごしてもらえることで、やりがいを感じています。
- 最初の頃は、『暖だん』を知ってもらうことに苦労しましたが、10年以上続けてきてみて、みなさんの集合場所や地域の目印として、暖だんを基準に説明してもらえることが増えてきたように感じます。最近では、定期的に野菜の販売するときなどは、みなさんこの場所目当てに訪れてくれる人もいて、なんでも継続していくことの重要さを感じています。マーケットへの出店を依頼されることも、地域から頼られているなという実感もあります。

6. 今後の活動について

今後新たな取り組みとして、今年の9月から東都大学の看護学科の学生が教育実習の一環で、この施設の活動の様子を見に訪れることが予定されています。沼津市社協から常設での居場所の事例として暖だんを紹介していただいた経緯があり、大学のカリキュラムの『介護予防』をテーマに実習に来ると聞いています。こちらも初めての取り組みでわからないことも多いですが、この活動をより多くの方に知っていただく良い機会ととらえており、PRしていきたいと思っています。